

## 6) 海岸環境の教育と取り組み

- ◆近年の海岸環境の悪化はゴミの投棄、水質汚染など少なからず人々の環境への配慮不足や認識不足が影響していると考えられます。渡島南沿岸住民アンケートからもゴミ問題などに関して海岸利用者のモラル・マナーの改善・教育を重視する意見が多く寄せられています。沿岸の良好な自然環境を守り、未来の世代に引き継いでいくために、人と環境とのかかわりについて理解と認識を深め、環境に配慮した行動がとれるよう学習する機会を設けることが重要となります。
- ◆最近では子供達が海や山や川などの自然のなかで遊ぶ機会が減っているという報告も有ります。地域と連携・協力して次世代を担う子供達が楽しみながら海岸環境を学習できる自然体験・生活体験の場や機会の充実が必要となります。このため、安全に海岸を利用できるような施設の整備を心がける必要があります。



写真 - 21 海岸の環境学習

## 7) 歴史・文化の保存・伝承

- ◆古来より人は海と遊び、海岸を憩いの場とし、海辺の景色を安らぎの場としてきました。その長い歴史のなかで生まれ、育まれてきた文化的所産、史跡、生活習慣などに根ざした歴史的文化遺産、祭事、伝統芸能などは環境の変化や時代の推移に伴い、保存や伝承が困難になってきているものもあります。
- ◆渡島南沿岸は北海道の歴史の玄関口であり、指定文化財の多さからもその歴史を伺わせます。沿岸域の貴重な自然や文化遺産を次世代に引き継いでいくために、自然環境の保全や文化財などの保存対策を積極的に進める必要があります。

表－3 指定文化財の状況(平成11年4月1日現在)

	地 域 を 定 め ず	石 狩	渡 島	桧 山	後 志	空 知	上 川	宗 谷	留 萌	網 走	胆 振	日 高	十 勝	釧 路	根 室	国 保 有	計
国指定	15	20	21	9	9	5	4		5	7	9	4	2	13	6	4	133
道指定		5	33	19	8	5	3	10	1	13	7	4	14	5	5		132
合計	15	25	54	28	17	10	7	10	6	20	16	8	16	8	11	4	265

資料－北海道環境白書99(北海道環境生活部)より抜粋



写真－22 史跡 志苔館跡(函館市志海苔町)



写真－23 寒中みそぎ祭り(木古内町)

## 5.3 海岸利用の現況と課題

### 1) 海辺とのふれあい・環境学習空間提供

◆北海道の夏は短く、海水浴場や海浜公園、海辺のキャンプ場などの利用施設はその短い夏を満喫しようと大勢の人々で賑わいます。利用者からは安全できれいな利用施設が求められており、ゴミ・水質の管理、砂浜の侵食対策、事故防止の啓発など総合的な管理・整備が必要となります。



図 - 24 渡島沿岸の主な海水浴場、海浜公園、キャンプ場



写真 - 24 七重浜海浜公園

◆渡島南沿岸住民アンケートによると、「整備して欲しい便利施設は」ではトイレ・シャワー、ゴミ箱やゴミステーション、駐車場、海岸の公園・緑地が多く、「便利施設の整備」では、自然環境と共生・活用、ゴミ問題に配慮、景色や眺めに配慮するという意見が多くなっています。自然環境・景観に配慮した利用施設を整備し、人々が安全に浜辺とふれあい、同時に海辺の自然環境を学ぶことのできる空間を提供していくことが重要です。



図-25 整備して欲しい便利施設、便利施設の整備について

資料-渡島南沿岸住民アンケート(2000年12月)

表-4 海水浴場の利用状況

市町村名	海水浴場名	開設状況		利用者数(人)			水難事故		その他身体事故発生件数
		期間	日数	総数	1日平均	1日最多	発生件数	水死者数	
函館市	函館市入舟町前浜海水浴場	7/23~8/18	27	4,045	150	357	0	0	14
	函館市湯川海水浴場	7/4~8/31	59	55,348	938	3,441	0	0	96
松前町	新戸浜海水浴場	7/24~8/16	24	14,960	623	1,895	0	0	0
上磯町	七重浜海水浴場	7/24~8/22	26	27,880	1,072	3,200	0	0	105
	谷川地区遊泳場	7/25~8/10	11	277	25	57	0	0	0
	茂辺地区遊泳場	7/25~8/18	15	346	23	47	0	0	0
	石別地区遊泳場	7/25~8/18	20	3,788	189	835	0	0	0
(3市町・7海水浴場)				106,644	3,020		0	0	215
計(10支庁・37市町村・60海水浴場)				2,729,027	65,016		10	2	346

資料-平成11年度海水浴場実績報告(北海道環境生活部)より抜粋

表-5 北海道の海水浴場の入り込み数上位10位

順位	海水浴場名	開設日数	平成11年度利用者数
1	石狩浜海水浴場(石狩市)	44	592,400
2	おたるドリームビーチ(小樽市)	67	450,000
3	川下海水浴場(浜益村)	37	375,890
4	蘭島海水浴場(小樽市)	44	145,000
5	銭函海水浴場(小樽市)	44	115,200
6	元和台海浜公園(乙部町)	43	91,346
7	はぼろサンセットビーチ(羽幌町)	43	81,093
8	浜中海水浴場(留萌市)	41	75,255
9	有珠海水浴場(伊達市)	37	63,061
10	函館市湯川海水浴場(函館市)	59	55,348

資料-平成11年度海水浴場実績報告(北海道環境生活部)より抜粋

## 2) トイレ・駐車場などの利便施設整備

- ◆「海岸に行く目的」では魚釣り、散歩・ジョギング、ドライブといった1つの施設を利用するものではなく、移動しながら行うレクリエーションが多い状況となっています。また、乗用車を利用して海岸へ行く人が多いことから、トイレ・駐車場などの利便施設が不足していると感じている住民が多くいると思われまます。
- ◆渡島南沿岸住民アンケートによると、「海岸に行く目的」では魚釣り、散歩・ジョギング、ドライブ、海水浴、名所めぐりが多く、「海岸で不満に思うこと」ではトイレ・駐車場が不足していると感じています。
- ◆背後地の利用形態に沿った利便施設の整備を図る必要があります。この際には、地元市町との連携を図ります。

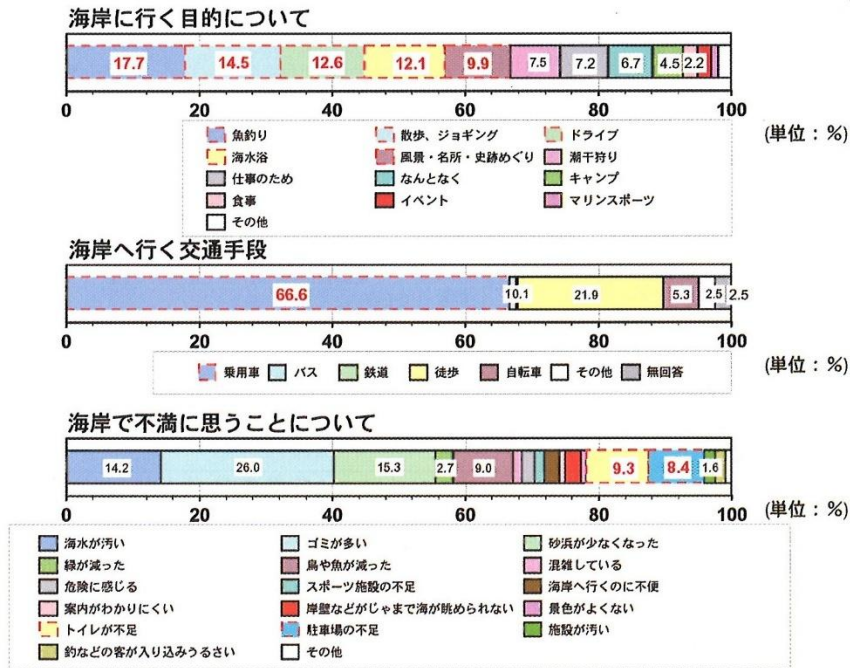


図-26 海岸に行く目的、海岸へ行く交通手段、海岸で不満に思うこと  
資料-渡島南沿岸住民アンケート(2000年12月)



写真-25 イカリカイ駐車公園(知内町)

### 3) 砂浜・水辺に近づきやすい施設の工夫

- ◆これまでの海岸保全施設の整備は自然の脅威からの「防護」を主な目的としてきたため、背後地から砂浜・水辺へのアクセスは容易ではありません。



写真 - 26 護岸から砂浜への階段

- ◆高齢者や身障者などの交通弱者、子供たちにも配慮し、スロープや誘導サイン、安全設備などの整備が必要となり、公共交通機関や幹線道路からのアクセスも確保しなくてはなりません。これからは人々の海辺とのふれあいや、水辺の魅力を発見できるように、砂浜・水辺に近づきやすい施設の工夫が必要です。



写真 - 27 松前町 白神岬